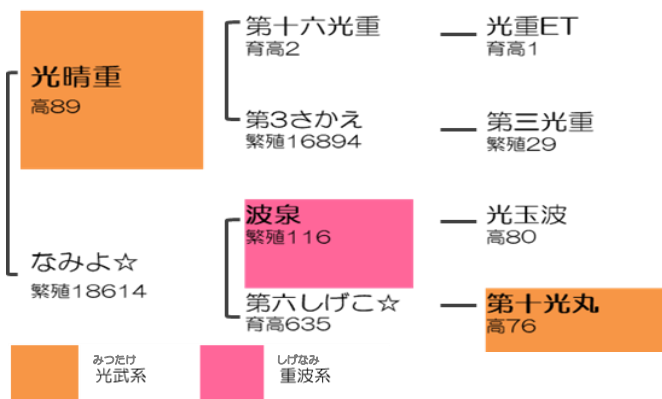


熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2020

だいいちみつはる 褐毛和種種雄牛「第一光晴」の選抜



問 研究のねらいは？

答 熊本県で昔から多く飼われている褐毛和種について、その牛肉の生産性・品質向上を図るため、優秀な種雄牛を選抜しました。

問 本牛の特徴は？

答 脂肪交雑、ロース芯面積の育種価は歴代2位の極めて高い評価となり、光晴重の特長を引き継ぐ後継牛として産肉性の改良に貢献できると考えられ、今後の活躍が期待されます。

【現場後代検定成績】

(単位: kg, cm², cm)

頭数	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積	ばらの厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMSNo.	肉質等級(3等級以上)
去勢 12 頭	25.1	508.9	64.7	7.9	3.0	74.1	4.58	91.7% (11/12)
雌 4 頭	25.6	451.0	64.5	7.9	3.3	74.5	6.00	100.0% (4/4)

【産子の枝肉】



性別	去勢
枝重	527kg
ロース	72cm ²
バラ厚	8.3cm
BMSNo.	8
等級	A-5



標準化育種価 (SBV) とは？

各形質の育種価を同一スケール上で比較したもの。値が+1以上の場合、改良効果が高い。

畜産研究所 生産基礎技術研究室